

現地調査候補地区 (案)

平成 1 6 年 4 月 2 8 日
農村振興局地域振興課

目 次

1	新潟県下	・ ・ ・ ・ ・	1
2	山口県下	・ ・ ・ ・ ・	3

新潟県（^{まつだいまち}松代町）

視察候補集落名：まつだいまち　よもぎひら　な　か　ご　おのしま　あざみだいら　とうげ
（蓬平集落、中子・芋島集落、苅平集落、峠集落）

協定面積：709.5ha（田 701.4ha　畑 8.1ha）

協定参加者：農業者 827人　４生産組織

交付金額：14,253万円/年度　うち個人配分　63％
共同取組活動分　37％

〔活動内容〕

・農地管理、水路・道路管理	19％
・共同利用施設整備・機械購入	8％
・役員報酬	3％
・その他	7％

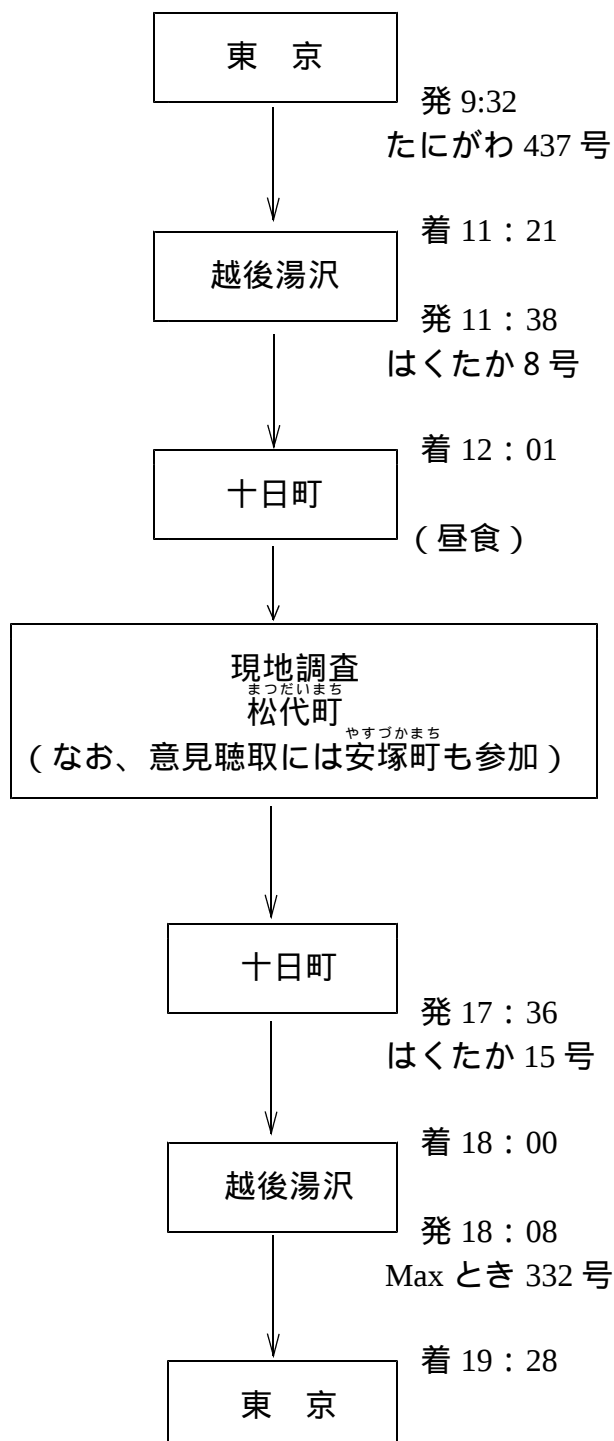
< 協定の特徴 >

- ・越後田舎体験のインストラクターや農家民宿による山村都市交流の実施。
- ・集落単位での転作田による工芸青刈り稲を活用したしめ縄加工。
- ・３４の協定で集落活性化プランを策定。

町主導ではなく、各集落が創意と工夫の下に独自の取り組みを展開しており、また、町は定期的に各集落間の意見交換の場を設定し、集落間の意識の向上を側面から支援している。

- 1 -

(行 程 案)



山口県（^{ふくえそん}福栄村、^{あとうちょう}阿東町）

○ 福栄村 ふくえそん

1 集落協定の概要

視察候補集落名：福栄村^{ふくえそん}（栗原集落^{くりばら}）

協 定 面 積 : 593ha (田 591ha 畑 2ha)

協定參加者：農業者 631 人 17 生產組織他

交 付 金 額 : 7,543 万円/年度	うち個人配分分	50 %
	共同取組活動分	50 %

< 協定の特徴 >

- ・ 以前から複数集落で構成する農区を中心にした営農再編を行い、その中で協定を推進してきた。農区内の営農再編はまだまだ道半ば。3セクの農業公社があるが、各地域と公社との有機的、効率的連携が課題。

- ・栗原集落協定

協定締結を契機に、既存組織（営農組合、若者会、婦人会など）を統合するむらづくり会を結成している。他出者に呼びかけたレンゲまつりを企画。営農組合は有志で作るコンバイン組合と田植機組合の2つがあるなど、地域全体の組織的な活動になっていないが、協定を契機に集落を単位にした活動が構築されようとしている。

2 意見聴取候補者リスト

(村)

- 栗原集落協定代表者
- 福栄村産業振興課長

(県)

- 山口県農村振興課主査

○ あとうちょう
阿東町

1 集落協定の概要

視察候補集落名：阿東町（井戸・火打原・市場集落）

協 定 面 積 : 1,807ha (田 1,805ha 畑 2ha)

協定參加者：農業者 1649 人 21 生産組織 18 水利組合他

交 付 金 額 : 20,013 万円/年度	うち個人配分分	48 %
	共同取組活動分	52 %

〔活動内容〕

- ・農地管理、水路・道路管理 16 %
- ・共同利用機械購入等 9 %
- ・共同利用施設整備等 3 %
- ・鳥獣被害防止対策 3 %
- ・積立・繰越 12 %
- ・役員報酬 3 %
- ・その他 6 %

< 協定の特徴 >

- ・集落再編をにらんだ制度利用を関係機関合同の地域別推進チームを編成し推進。町全域で営農組織化に向けた推進を図っている。平坦農地に町独自の直接支払を実施している。
- ・井戸・火打原・市場協定(3集落合同の協定)

多面的機能増進活動が現地での低い位置付けであることや集落内や
3 集落間の連携の難しさの説明を元普及員の代表者から聞くことが
できる。志はあるが思うように前進できない農村の実態に接するこ
とができる事例

2 意見聴取候補者リスト

(町)

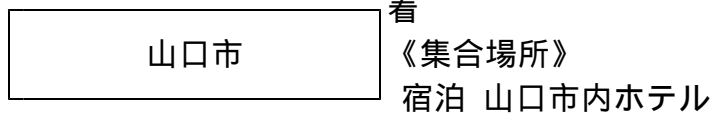
- 井戸・火打原・市場集落協定代表者
- 徳佐上中集落協定代表者
- 阿東町産業振興課長

(三セク等)

- 集落協定推進チームの班長として活躍しているＪＡ山口中央の企画担当者、ふるさと振興公社（地域振興のために設立された第三セクター）局長

(行 程 案)

○ 1 日 目



○ 2 日 目

